

製品名: RhoGEF p115 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17133**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	105kDa

抗原情報

遺伝子名	ARHGEF1
別名	ARHGEF1; Rho guanine nucleotide exchange factor 1; 115 kDa guanine nucleotide exchange factor; p115-RhoGEF; p115RhoGEF; Sub1.5
遺伝子 ID	9138.0
SwissProt ID	Q92888
免疫原	抗血清はヒト ARHGEF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 162-211

背景

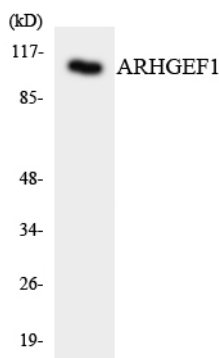
Rho GTPase は、G タンパク質共役受容体を介して作用する細胞外刺激によって開始される多くの細胞プロセスにおいて、基本的な役

割を果たします。コードされているタンパク質は G タンパク質と複合体を形成し、Rho 依存性シグナルを刺激する可能性があります。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっていますが、一部のバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],domain:DH ドメインは CCPG1 との相互作用に関与しています。、domain:RGSL ドメイン (rgRGS ドメインとも呼ばれます) は GAP 活性化に必須ですが、それだけでは十分ではありません。、function:グアニンヌクレオチド結合 α -12 (GNA12) および α -13 (GNA13) サブユニットによる RhoA GTPase の制御に関与していると考えられます。GNA12 および GNA13 に対する GTPase 活性化タンパク質 (GAP) として、また RhoA GTPase に対するグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) として作用する。活性化 G α 13/GNA13 は RGS 様ドメインとの相互作用を介して RhoGEF 活性を刺激する。この GEF 活性は活性化 GNA12 への結合によって阻害される。、PTM: PKCA によりリン酸化される。、配列注意: 汚染配列。N 末端部に由来不明の配列が含まれている。、類似性: DH (DBL 相同) ドメインを 1 つ含む。、類似性: PH ドメインを 1 つ含む。、類似性: RGSL (RGS 様) ドメインを 1 つ含む。、細胞内局在: 活性化 GNA13 または LPA 刺激によって膜へ移行する。、サブユニット: RHOA、GNA12、および GNA13 と相互作用する。コイルドコイル領域を介してホモオリゴマーを形成する。CCPG1 と相互作用する可能性がある (類似性による)。CTNNAL1 と相互作用する。、組織特異性: 普遍的に発現する。、

研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

画像データ



ARHGEF1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



RhoGEF p115 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析